

「甲冑のまちしろいしフォトコンテスト」写真募集

平成24年5月に開催する「第54回全日本こけしコンクール」に合わせて、「**甲冑**」を題材としたフォトコンテストを実施します。

町中歩きやイベントなどで、甲冑との出会いの瞬間を映し出し、見る人の感性に感動を与えてくれる、歴史・文化とのストーリー性を持った写真を募集します。

※白石城、壽丸屋敷で甲冑の試着ができますのでご利用ください。

●**応募資格** アマチュアの方

●**応募規定** サービス版からワイド4つ切りまで。カラー・白黒どちらでも可(ただし組み写真やスライドは不可)。1人2点以内(未発表のもの)。作品は、白石市内で甲冑を着用して撮影したもので、平成23年3月から24年2月までに撮影した作品に限ります。

●**応募方法** 商工観光課や白石駅・白石蔵王駅観光案内所、白石城、壽

丸屋敷などに備え付けてある応募用紙にテーマ、撮影した日時、撮影場所、コメントなどを記入し、作品ごとに裏面に添付してご応募ください。応募用紙は、白石市観光協会のホームページからもダウンロードできます。

●**応募期間** 8月1日(月)～平成24年2月29日(水)(最終日必着)

●**結果発表** 平成24年3月(予定)

●**作品展示** 第54回全日本こけしコンクール会場ほか

●**各賞** 最優秀賞(1名)賞状+副賞(ペア温泉宿泊券)、優秀賞(2名)賞状+副賞(温泉宿泊券)、佳作(若干名)賞状+副賞(地場産品)、市民春まつり賞(若干名)賞状+平成24年春まつりポスターに掲載

●**注意点** 応募作品は、被写体(個人の場合は本人)の了解を得た作品で、応募者本人が撮影したものに限り。また、応募作品の著作権は



作者に帰属しますが、使用権は主催者に帰属します。

●**主催** 白石市観光協会

●**応募・問い合わせ先**

〒989-0292 白石市大手町1-1(白石市商工観光課内) 白石市観光協会「甲冑のまちフォトコンテスト」係 ☎22-1321

・白石市観光協会ホームページURL <http://www.shiroishi.ne.jp/htm/>

白石の魅力が満載！ 毎週火曜日正午～エフエム仙台で「白石よござりす」放送中！

エフエム仙台（Date fm・白石地区81.4MHz、仙台地区77.1MHz）で白石市をPRするラジオ番組が、7月5日からスタートしました。観光やグルメ、歴史、震災復興に焦点をあて、白石市の魅力をさまざまな角度からご紹介します。メインテーマに「すまいる」をかかげ、ラジオをお聞きの皆さんに元気や明日への活力を与えたいと考えています。

番組タイトルは、観光大使である山崎パニラさんの楽曲「白石よござりす」が由来。番組では毎週、豪華プレゼントを用意し皆さんからの情報やメッセージ、リクエストをお待ちしています(Eメール: sy@datefm.co.jp、☎022-711-9555)。

毎週火曜日正午～12時55分までの55分間の生放送。ぜひ、お聞き逃しなく！

●**番組ホームページ** <http://www.datefm.jp/shisei/shiroishi/>



▲7月5日の第1回放送では、すまいる大使の山崎パニラさんがゲスト出演して、白石をPRしました

「デイリータウンページ&ハローページ」+「白石市市民便利帳」が完成！ 8月中旬から配布

N T T 番号情報株式会社(本社：東京都)と本市が共同で制作を進めてきた「デイリータウンページ&ハローページ」+「白石市市民便利帳」が完成し、8月中旬から各世帯に配布されます。便利帳には、職業別電話帳の「デイリータウンページ」と50音別電話帳の「ハローページ」(企業名分のみ)、暮らしに役立つ情報のほか、さまざまな「交流」をテーマに白石の「輝く人」が登場する「ふれあい特集」も掲載されています。

また、発行に当たっては、市内の企業や団体、商店主の皆さまから多大なる協賛をいただきました。

配布はN T T 番号情報の委託業者が行いますので、ご理解をお願いします。9月上旬までにご自宅に届かない場合は、総務課(☎22-1331)までご連絡ください。



▲表紙や特集のページなどに市民の皆さんが登場します

仙南の魅力が詰まった「みやぎ蔵王三十六景旅のしおり」ができました

仙南のシンボルである「蔵王」。仙南2市7町や商工会、県大河原地方振興事務所等が連携し、平成16年、仙南各地から「蔵王」を背景にした素晴らしい景観36カ所を「**みやぎ蔵王三十六景**」として選定しました。これをさまざまな地域資源と結び付け、仙南地域共有の財産として、育てていくこととしています。

その取組の一つ、「みやぎ蔵王三十六景旅のしおり」は、この絶景スポットにまつわる歴史や逸話など、地元ならではの物語がぎっしり詰まった小冊子です(この小冊子に掲載されている「川原子ダム／鎌先温泉の始まり」を紹介します)。

しおりは、商工観光課窓口で配布していますので、ご利用ください。
☎大河原地方振興事務所地方振興部 ☎0224-53-3182

川原子ダム／白石市 奥羽の薬湯 鎌先温泉の始まり

川原子ダム(農業用ダム)の湖面に映る南蔵王不忘山。その麓に湧き出る鎌先温泉の伝説。600年以上も昔、桜が咲き誇り、うぐいすのさえずりが艶めくころ、一人の農夫が山で木を伐採していました。のどが渇き、水を求めて沢を探すと、岩から湯気が出ている。農夫が腰に差していた鎌で岩を突くとこんこんと湯が湧き出したのが、鎌先温泉の始まりと言われています。「キズに鎌先」といわれ、奥羽の薬湯として人気です。夜は温泉街がライトアップされ、幻想的な雰囲気に包まれます。



白石市には、源義経の家来が発見したとの伝説が残る小原温泉、弘法大師の伝説が残る白石湯沢温泉など、湯量豊富で風光明媚な湯が数多くありますので、お立ち寄りください。

手を取り合って、世界をもっともっと幸せにしよう ～人権啓発活動事業「人形劇鑑賞会」～

7月15日、平成23年度人権啓発活動地方委託事業「人形劇鑑賞会」がふれあいプラザで行われました。

この鑑賞会は、保育園児などが人形劇鑑賞を通して人権尊重の心を学ぶとともに、保護者などが子育て期の人権尊重意識や児童虐待防止などの普及啓発を図るために行われているもの。人形劇は「いなかのねずみととかいのねずみ」と「びんぼうがみとふくのかみ」の2作品。この日は、約170人の皆さんが会場を訪れ、楽しみながら人権について学びました。

劇を鑑賞した保護者は、「すべての生命には生きる権利があることや、みんなで手を取り合えば、世界がもっともっとしあわせになるのではないかと考えさせられました」と話してくれました。



▲楽しみながら人権尊重の心を学びました

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。家族みんなで過ごしましょう！ 今月は8月21日です。